

はばたき2018合同報告会

平成31年2月20日に八潮メセナで、「はばたき2018」小中一貫教育合同報告会を開催しました。これは、本市で行っている小中一貫教育の取り組みを市民の皆さんに知っていただくため、毎年この時期に開催しているものです。報告会の一部を紹介します。

1 八潮こども防災マイスター報告

「八潮こども防災マイスター育成プロジェクト」(平成30年9月15日に実施)

に参加した八潮市立小の津拓輝さんが、参加した児童生徒を代表し、講習の様や防災マイスターとしての活動について報告しました。

防災マイスターは、市が包括協定を結んでいる国士館大学と連携し、防災の知識や救急救命の重要性について早期の段階で学ぶことを目的としています。講習を修了した児童生徒は市独自の資格として「八潮こども防災マイスター」に認定され、自校において防災の推進役となります。



▲八潮市総合防災訓練に参加

また自治会等の防災訓練に主体的に参加することで、身に付けた知識や技能の普及に努めます。

報告の中で津さんは、「将来は消防士になりたい」という夢を語ってくれました。

2 秋田県小坂町との相互研修報告

学力が高いヒミツはどこにあるのか
自分の成長を実感できる授業
自己肯定感を高める

4年目を迎えた秋田県小坂町への派遣研修は、今では小坂町の教員が本市を訪れ、授業を行ったり参観したりするなど、互いの良さを学びあう研修へと発展しています。

平成30年度に派遣した6人の教員を代表して、中川小学校の秋山千幸教諭に、小坂町の小中一貫教育や学びの環境、教師の授業力等について報告していただきました。

3 派遣教職員による授業を参観して

昨年1月に、中川小学校で小坂小学校教員と中川小学校教員による協働授業が行われました。合同報告会では、保護者代表として教育委員でもある木下文江さんと大瀬小学校山口朋幸主幹教諭の二人から、授業を参観した感想が発表されました。二人の掛け合いによるテンポの良い発表は大変わかりやすく、その時の教室の熱気や授業の様子が伝わってきました。



ふるさと科

ふるさと科は八潮市独自の取組です。

■ふるさと科とは

小学校3年生から中学校3年生までの発達段階に応じ、人とのふれあいを通して、私たちのふるさと「八潮」について学びます。

ふるさと科で、大瀬小学校の6年生がインターネットを駆使し、八潮市の伝統や魅力、将来の姿について考え、提案書としてまとめました。平成31年3月20日には、この提案を市の取組に少しでも反映してもらいたいと、教育長や市議会議員の皆さんが集まる中、代表者3名が将来の八潮市について提言しました。



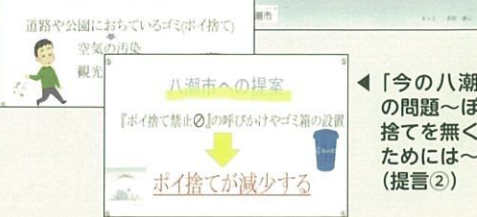
▲「八潮にフォトジェニックスポットを作る」(提言③)

どの提案も現状と課題が整理され、「どうしたら八潮市が『魅力的なまち』になるのか」、未来を見据え、しっかりと考えられていました。

「八潮市の政治、取り組みに関して」(提言①)



今の八潮市の問題



「今の八潮市の問題～ぼい捨てを無くすためには～」(提言②)

小中一貫教育

子どもたちの未来を彩る 小中一貫教育
～学びを結ぶ 次のステージへ～

はばたきプラン

今の子どもたちが生きるこれからの時代。

グローバル化や情報化、少子高齢化など、社会は急激に変化しており、様々な課題に対応する力が求められています。このような時代を生き抜くために、子どもたちはどのような力をつけていかなければならないのでしょうか。

これからの時代を 生きる子どもたちへ 新しい学びがスタートします。

小学校では平成32年度(2020年度)、中学校では平成33年度(2021年度)から新しい学習指導要領による教育が始まります。

道徳は「特別の教科」となり、小学校では外国語教育の教科化やプログラミング教育が導入されます。

新学習指導要領では

今回の改定は、新しい時代に必要とされる資質、能力(「何ができるようになるか」)の育成が求められ、「何を学ぶか」、「どのように学ぶか」ということが重視されました。

- ▶ 学びに向かう力
- ▶ 人間性の涵養
- ▶ 生きて働く知識・技能の習得
- ▶ 未知の状況に対応できる思考力・判断力・表現力の育成 等々

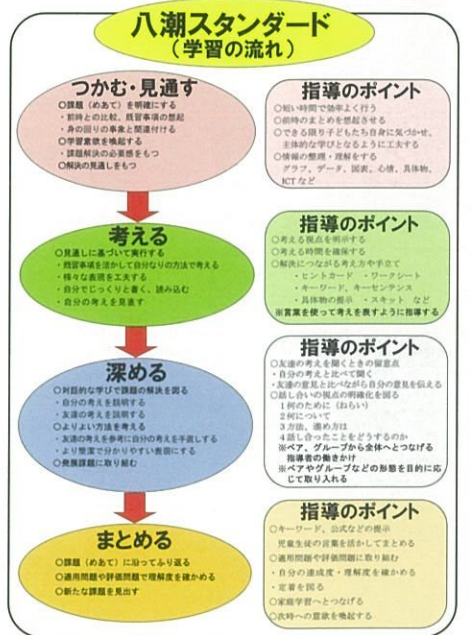
子どもたちの持てる知識を活用し、人生や未来を切り拓く力を育てます。

「学習指導要領」とは、全国どこの学校でも一定の教育水準が保てるよう、文部科学省が定めている教育課程(カリキュラム)の基準です。およそ10年に一度、改訂しています。

八潮市では新学習指導要領が示す「主体的・対話的で深い学び」を実現する為に、平成28年度から「八潮スタンダード」(目指すべき授業展開を示したモデル)を活用した授業改善を図っています。

社会が多様化する中、日々の授業が、「児童生徒にとって魅力あるものになっているのか」、「児童生徒が主体的に活動しているかどうか」、そして、「子どもたちが自ら考え、友達の考えの良さに気づき、友達とともに解決に向け努力しているか」という視点にたち、教師主導型の説明中心の授業から変わる必要があります。

平成31年度も、「9年間の授業のつながり」とどことどこかわり、八潮スタンダードを活用しながら、児童生徒の能力を引き出し、伸ばしていきます。



学習指導要領に新たに盛り込まれた「プログラミング教育」は、論理的な思考力を育てることをねらいとしています。八潮市も平成30年度に、市内小中学校にタブレットを導入しました。自らプログラムを入力し、目的への手順を考えることにより、プログラミング的思考を育成する授業が始まっています。

また、小学5・6年生の「外国語」の教科化や3・4年生で「外国語活動」が始まることから小学校に語学指導補助員を配置しています。

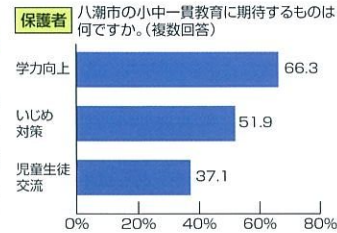
全般

■小中一貫教育の導入から10年目

平成18年度に小中一貫教育の手法を導入してから10年目を迎えました。

■小中一貫教育に関するアンケートの実施

小中一貫教育の取組について、児童生徒・保護者・教職員の意識や実態を把握し、一層の充実を図るため、アンケートを実施しました。



■秋田県小坂町派遣研修事業の開始

全国学力・学習状況調査で上位に位置する秋田県小坂町立小坂小・中学校（施設一体校）へ教員を派遣し、研修で学んできたことを市内全体に広め、本市の学力向上に生かしています。

平成30年度までに、市内19名の教員が参加しています。現在、本市の授業で活用している「八潮スタンダード」は、この研修で習得したことを基に作成しました。

■「八潮スタンダード」の試行的活用

児童生徒の思考力・応用力を高める「八潮スタンダード」(目指すべき授業展開を示したモデル)を活用した授業実践が始まりました。

■八潮市みんなでいじめをなくすための条例(通称:いじめゼロ条例)を基にした授業の実施

平成27年9月に施行された「いじめゼロ条例」を基にした授業を市内全学級で行いました。いじめ撲滅に向けて毎年、実施し、豊かな心の育成を目指しています。



大原小学校での授業▲

■学習塾との連携事業(通称:ハゼミ)を開始

小学校5年生を対象に、国語と算数について児童一人ひとりのつまずきの解消を目指し、学習塾と連携して個に応じた指導を行っています。

■「八潮スタンダード」の全面実施

「八潮スタンダード」を市内全校で全面実施し、全教科・領域で活用します。スタンダードを授業で活用することにより、授業改善を推進するとともに児童生徒のより一層の学力向上を目指します。



■教師用「新体力テスト攻略ハンドブック」の活用開始

ハンドブックの活用が、市内全校で始まりました。

■秋田県小坂町教職員受け入れ研修

秋田県小坂町の教職員が本市を訪れ、中川小学校において、小坂町への派遣研修に参加した中川小学校教員と「八潮スタンダード」を基にした算数の協働授業を行いました。



※八潮スタンダードは、小坂スタンダードを参考に作成しています。

■各部会での作成物の効果的な活用

これまで各部会で作成した「八潮スタンダード」や「新体力テスト攻略ハンドブック」、「はばたきファイル」等を活用し、小中一貫教育の「学力・体力の向上」と「豊かな心の育成」を目指し、授業を通して児童生徒の変容に努めます。



■不登校対策の手引き

不登校対策協議会で「不登校対策の手引き」を作成し、各学校に配付しました。この手引きを活用し、不登校の未然防止に努めます。



■八潮Basicの電子化

これまで冊子として配布していたBasicを電子化し、「使いたいときに使いたい部分だけを」授業や補充的な学習の時間に活用できるようにします。



推進体制 ・ 研究指定

教職員が検討部会の構成員となって、学力・体力の向上や豊かな心を育む具体策について研究を進めています。

■小中一貫教育推進委員会各部会での検討

- ・けいかく部会…小中一貫教育アンケートの内容検討及び結果分析
- ・まなび部会…「八潮Basicの手引き」及び「八潮スタンダード」の作成
- ・こころ部会…「八潮市みんなでいじめをなくすための条例(通称:いじめゼロ条例)」を基にした授業実践案の作成
- ・しえん部会…「個別支援ファイル」の改善

■研究発表会(H27.11.12)

- ・大原中ブロック(大曾根小、大原小、大原中)

児童・生徒からの4つの提言

- 1 高学年からの教科担任制の導入
- 2 中学生とのあいさつ運動の実施
- 3 高学年からの部活動体験の実施
- 4 全中学校でのいじめ撲滅運動の実施



■小中一貫教育推進委員会各部会での検討

- 知・徳・体のバランスのとれた児童生徒の育成を目指し、検討部会に「まなび(体力)部会」を新設しました。
- ・けいかく部会…小中一貫教育アンケート結果の考察
- ・まなび(学力)部会…「八潮スタンダード」の改善
- ・まなび(体力)部会…新体力テストの結果分析及び課題設定、「新体力テスト攻略ハンドブック」(教員向け)の作成
- ・こころ部会…いじめゼロ条例(通称)を基にした授業モデル案の検討・作成
- ・しえん部会…「個別支援ファイル」と「登校支援個人票」の統合に向けての検討

■研究発表会(H28.11.22)

- ・八幡中ブロック(八幡小、柳之宮小、八幡中)



いの中の授業▶

■小中一貫教育推進委員会各部会での検討

- ・けいかく部会…各中学校ブロックの特色を明確にしたプレゼンテーション作成、特別の教科道徳について協議
- ・まなび(学力)部会…八潮スタンダード「理科版」の作成
- ・まなび(体力)部会…「新体力テスト攻略ハンドブック」(保護者、児童・生徒向け)の作成
- ・こころ部会…いじめゼロ条例(通称)を基にした授業年間計画の作成
- ・しえん部会…「個別支援ファイル」と「登校支援個人票」を統合した「はばたきファイル」の作成

■研究発表会(H29.11.17)

- ・八條中ブロック(八條小、八條北小、八條中)



八條北小学校と八條中学校教員による6年生の学級活動▶

■小中一貫教育推進委員会各部会での検討

- ・けいかく部会…埼玉県学力・学習状況調査の効果的な分析方法及び結果の活用方法について検討
- ・まなび(学力)部会…八潮スタンダード「国語版」「算数・数学版」の作成
- ・まなび(体力)部会…八潮スタンダード「体育版」の作成
- ・こころ部会…八潮スタンダード「道徳版」の作成
- ・しえん部会…「～はじめのいっしょ～八潮スタンダードにつなげるために」の作成



■研究指定(～H35年度)

「八潮スタンダード」の完全定着や一層の学力向上を目指し、市内全小中学校15校に、6年間の小中一貫教育研究指定(第四次)を行いました。

■今後の研究発表会

- ・未開催(2018年度)
- ・八潮中ブロック(2019年度)
- ・潮止中ブロック(2020年度)
- ・大原中ブロック(2021年度)
- ・八幡中ブロック(2022年度)
- ・八條中ブロック(2023年度)

保護者 ・ 地域

保護者や地域の方々にご理解とご協力をいただきながら小中一貫教育を進めています。

■「はばたき2015」合同報告会(H28.2.23)

小中一貫教育について、保護者や地域の方々にご理解をいただくため、平成18年度から小中一貫教育合同報告会を実施しています。

児童生徒の発表



■はばたきプランの作成

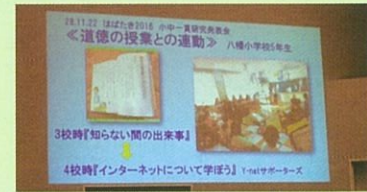
毎年、保護者・地域向けにリーフレットを作成・配布し、取組について周知しています。



H28.3月発行

■「はばたき2016」合同報告会(H29.2.24)

日頃から市内小中学校において、安全なインターネット(SNSを含む)の利用について正しい知識や判断力を育成するための授業等を行っている『Y-netサポーターズ』(現在は、一般社団法人『S-netサポーターズ』)に講演をしていただきました。



▲Y-netの講演の様子



H29.3月発行

■「はばたき2017」合同報告会(H30.2.20)

研究発表会を行った八條中ブロックの八條小学校と八條北小学校による合同合唱と八條中学校を加えた3校の児童・生徒会の皆さんによる「いじめ撲滅宣言」を発表しました。

また、八條中ブロック職員3名と長年に渡って本市の教育にご指導いただいている文教大学名誉教授の平澤茂氏を進行役にお招きし、「学校現場から見た八潮の小中一貫教育」をテーマに座談会を開催しました。座談会では、小中一貫教育導入後の取組内容や児童生徒、教職員の变化、また、施設分離型での苦労や成果と課題、今後の意気込みなどについて意見が出ました。



H30.3月発行

■「はばたき2018」合同報告会(H31.2.20)

授業改善を大きなテーマに、小中一貫教育合同報告会(裏面)を開催しました。

■コミュニティ・スクールの開始

市内全小中学校に学校運営協議会が設置され、コミュニティ・スクールが始まりました。

コミュニティ・スクールとは学校運営協議会が設置されている学校のことをいい、学校運営協議会とは保護者や地域の方々や委員となり、学校の運営方針や様々な課題等を協議する機関です。地域の方々の意見を学校運営に反映させ、「地域とともにある、特色ある学校づくり」を進めていきます。



小中一貫教育を支える方々

きめ細かな教育を実践するため、様々な人材を配置しています。

●少人数指導補助教員(学力向上指導員含む)	22人(各小中学校)	22人(各小中学校)	23人(各小中学校)	23人(各小中学校)
●さわやか相談員・スクールカウンセラー	5人(各中学校)・4人	5人(各中学校)・3人	5人(各中学校)・5人	5人(各中学校)・5人
●介助員	9人(小学校8校)	10人(小学校10校)	14人(小学校10校)	13人(小学校10校)
●理科支援員	1人(小学校3校)	1人(小学校3校)	1人(小学校4校)	1人(小学校3校)
●学語指導補助員・ALT	5人・6人(各小中学校)	5人・6人(各小中学校)	5人・6人(各小中学校)	7人・6人(各小中学校)
●学校司書	0人	0人	0人	1人(2小1中学校)
●教育相談関係職員	7人	7人	8人	8人